

令和元年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



中 区

中区区づくり推進横浜市議員会議

目 次

議 題

- (1)平成 30 年度中区個性ある区づくり推進費決算状況について……………P1
- (2)平成 30 年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績について……………P3
- (3)令和元年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況について……P18
- (4)令和2年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方について……………P34
- (5)その他

平成30年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

予算区分	予算額(A)	決算額(B)	差引(A-B)	執行率
(1) 自主企画事業費	106,121,000	105,327,640	793,360	99.3%
(2) 一般管理費	452,569,000	451,703,789	865,211	99.8%
合計	558,690,000	557,031,429	1,658,571	99.7%

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

予算体系の柱	予算額(A)	決算額(B)	差引(A-B)	主な事業及び実施内容
1 地域の活力があふれるまちづくり (10事業)	26,521	24,146	2,375	中区まちづくり推進事業 都市計画マスタープラン中区プラン改定素案作成、大岡川周辺・日本大通り魅力向上の取組
				賑わいづくり推進事業 本牧エリア活性化に向けたヒアリング調査、イベント実施支援、人材育成講座を実施
2 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり (7事業)	18,093	15,590	2,503	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 地域が主体となって課題解決に向け、取り組めるよう、区・区社協等が連携し地域支援を実施
				地域包括ケアシステム推進事業 高齢者の地域交流促進、介護予防活動推進、認知症介護者支援等を実施
				みんなで子育て事業 おでかけスポットマップの改訂や保育所等情報提供の実施など、地域での子育て支援を推進
3 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり (8事業)	18,733	16,158	2,575	地域防災力向上事業 減災行動啓発、災害時担い手育成、防災訓練・災害対策の各事業を実施
				食の安全・安心事業 食品営業施設への監視指導と消費者への啓発により、食中毒の発生及び被害拡大を防止
4 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり (4事業)	42,774	49,434	△ 6,660	多文化共生推進事業 多言語広報紙発行・多言語ホームページ運営等外国籍住民に対する情報提供の取組
				感動区役所推進事業 CS向上事業、ES向上事業、人権啓発事業、人材育成事業、親しまれる区庁舎改善事業を実施
合計	106,121	105,328	793	

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

(2) 一般管理費

事業区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
統合事務費	37,025	36,934	91	
区庁舎・区民利用施設管理費	415,544	414,770	774	
区庁舎等管理費 (光熱水費等管理費を含む)	99,767	105,098	▲ 5,331	区庁舎(本館・別館)、中土木事務所、 区民活動センター
公会堂管理費 (光熱水費等管理費を含む)	30,981	26,900	4,081	開港記念会館
地区センター等管理費	99,852	100,112	▲ 260	地区センター(3)、集会所(1)
ログハウス管理費	7,831	7,831	0	こどもログハウス(1)
老人福祉センター等管理費	40,618	40,618	0	老人福祉センター(1)
コミュニティハウス管理費	69,534	69,590	▲ 56	コミュニティハウス(6)
区スポーツセンター管理費	48,400	48,400	0	中スポーツセンター(1)
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	4,407	3,093	区庁舎等、区民利用施設の修繕
その他 (国際交流ラウンジ・遊び場)	11,061	11,814	▲ 753	国際交流ラウンジ(1)、子どもの遊び 場(6)、町のはらっぱ(1)
一般管理費 合計	452,569	451,704	865	

《参考》

(単位：千円)

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
区局連携事業	3,296	2,986	310	
外国籍等生徒に向けた放課後学習 サポート事業	2,627	2,625	2	
緊急時における迅速、確実な連絡 体制の構築	669	361	308	

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

平成30年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績

1 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげました。</p> <p>(1) 仁川広域市中区：友好交流協定（22年3月締結） ア 新区庁長就任祝賀メッセージの送付（30年6月） イ 区民の日記念式祝賀メッセージの送付（30年9月） ウ 区庁長一行による横浜市中区訪問（30年11月20日、14人）</p> <p>(2) 岩手県釜石市：友好交流協定（26年3月締結） ア 中区職員ボランティアによる釜石鶴住居スタジアム周辺整備（30年10月） イ 中区災害時要援護者支援講演会の講師として釜石市健康推進課の佐々木氏を招へい（30年11月）</p> <p>(3) 埼玉県飯能市：友好交流協定（26年3月締結） ア 協議会（年4回）及び代表者会議（年1回）を開催しました。 イ イベント交流事業として飯能新緑ツーデーマーチ（30年5月26日）に参加（区民49人、区職員11人）、ハローよこはま（30年10月7日）、飯能まつり（30年11月4日）に交流ブースを出展し、両都市の交流をPRしました。</p> <p>(4) 群馬県嬬恋村：友好交流協定（28年2月締結） ア イベントへの相互参加：つまごい祭り（30年7月28日台風により中止）、ハローよこはま（30年10月7日）、三塔の日イベント（31年3月10日） イ 中居屋重兵衛頭彰会区長訪問（30年4月10日、30人来訪）</p>
予算額	1,455千円	
決算額	583千円	
差引	872千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

		事業内容
2. 中区まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたくなる魅力的な中区の実現を目指してまちづくりを進めました。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行いました。また、30年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めました。</p> <p>(1) まちづくり対応事業 ア 横浜市都市計画マスタープラン中区プラン改定素案を公表（30年11月）し、説明会を開催することで、広く市民意見を募集し、改定原案(案)の作成に向けた取組を進めました。 イ 賑わいづくりや環境改善に取り組む大岡川右岸への関心の高まりを目指し「スリッパ卓球大岡川右岸大会」を地域と連携して実施しました（31年3月23日）。 ウ ガーデンシティ横浜と連携し、日本大通りでのバラプランターの設置（30年5月3日～23日）や寄せ植えワークショップを開催（30年5月19日）し、花・緑等による魅力ある空間を創出しました。また、大岡川でまち歩きと親水体験を組み合わせたイベントを開催（30年10月7日、21日）し、河川の魅力を再発見することで、区内の魅力向上に取り組みました。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業 ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援をしています。 イ 地震火災対策として、都市整備局及び地域と連携し、防災まち歩き及びワークショップの実施（山元町一丁目・二丁目）、防災広場の整備（本郷町3丁目）に取り組みました。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 まち歩きや小中学生の校外学習向けに配布している「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第6版を発行しました（30,000部）。</p>
予算額	3,424千円	
決算額	3,400千円	
差引	24千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3. 賑わいづくり推進事業		<p>本牧エリアでは、情報発信型コミュニティカフェ「HOMMOKU BASE」のオープン（30年3月）や「本牧ハワイアンフェスタ」開催（30年9月）、「横浜マリンFM」の開局（元年8月26日）など、地域が主体となった取組が広がっています。</p> <p>このような機運を地域活性化のチャンスととらえ、地域の様々な背景をもった組織・団体・地域の人々が連携し、本牧全体で活性化に向けた取組が行える環境（プラットフォーム）に向けて活動しました。</p> <p>(1) ヒアリング調査の実施 地域のキーパーソンの発掘や本牧に適した活動の在り方を探るためヒアリング調査を実施しました。 ヒアリング実施件数：20件、27人 共通意見：・本牧に対し、愛着がある（住みやすい、横浜マリンFMに期待） ・本牧のさらなる活性化を期待 ・活性化に対し様々なイメージがあり、どのようにまとめていくのかが課題」</p> <p>(2) なかく風おこせプロジェクト 本牧で活動できる人材の発掘・育成を目的とした連続講座を実施しました。 実施日：31年2月27日（水）から毎週水曜日 計5回 テーマ：お馬流しや本牧の歴史、グループ活動についてなど 登録者数：28人</p> <p>(3) 地域活動支援 本牧エリアで地域活動を行っている団体等の活動支援として本牧ハワイアンフェスタの開催に協力しました。 実施日：30年9月16日（日）※約2,000人来場 場所：本牧山頂公園（観山広場）</p>
予算額	2,000千円	
決算額	1,078千円	
差引	922千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 中区商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題として捉え、商店街活性化に向けた支援を行いました。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業 ア 商店街紹介ホームページの更新 中区ホームページに、商店街PR動画を掲載しました。 イ その他情報発信 本牧・山手エリア商店街のPR動画作成（各2分）、YouTubeへの掲載（山元町1丁目誠商会、山元町二丁目商栄会、山手駅前商和会、大和町商栄会、麦田町発展会、本郷町商栄会、本牧リボンファンストリート商店会、本牧1丁目東商友会、本牧三溪園通り商栄会、本牧通り商業活性化協会）</p> <p>(2) 商店街連携モデル事業 商店街と小学校が連携したイベント「小学生の商店街お仕事体験」を商店街で実施することで、地域をあげて盛り上げました。 ・30年11月16、20、22日、大鳥小学校3年生85人を対象に実施（本郷町商栄会、本牧リボンファンストリート商店会、本牧一丁目東商友会）</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店 ハローよこはまに商店街ブースとして区商連加盟の商店会から出店を募り、商品やサービス提供を行い、広く商店街の魅力をPRしました。 ・30年10月7日、8商店会が出店（協同組合伊勢佐木町商店街、麦田町発展会、山手駅前商和会、横浜中華街市場通り会、(株)インポートマート、本牧リボンファンストリート商店会、ヨコハマベイステナント会、本牧通り商業活性化協会（ガチ！シリーズ金賞・ふじやま亭））</p> <p>《参考》（経済局区配付予算） 商店街活性化イベント事業（商店街実施イベントに対する補助金） 交付団体：24団体</p>
予算額	1,200千円	
決算額	877千円	
差引	323千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. ハローよこはま 2018		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表の機会創出」を目的として、中区民祭り「ハローよこはま」を開催しました。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与しました。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとなりました。</p> <p>また、従来の横浜公園、日本大通りに加え、新たに象の鼻パークまで会場を拡大しました。会場と近接する赤レンガ倉庫や山下公園では、ハローよこはま開催日と同日にイベントが開催されており、象の鼻パークへ会場を拡大したことにより、エリア全体の回遊性向上に寄与しました。</p> <p>【開催実績】</p> <p>(1) 日 時：30年10月7日(日)</p> <p>(2) 会 場：横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク</p> <p>(3) 来場者数：約18万人</p> <p>(4) 参加団体数：134(出店者及び出演者)</p> <p>(5) 出店ブース数：116</p> <p>(6) ステージ出演者数：35団体(3ステージ合計)</p> <p>(7) 総事業費：12,136,851円</p> <p>【主な実施内容】</p> <p>(1) 「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」や、プロスポーツ事業との連携による、チアダンスを中心とした特別ステージプログラム</p> <p>(2) 「ハローよこはま ビジターカード」の配布</p> <p>(3) デジタルスタンプラリーの実施</p> <p>※上記の他、「元気フェスタ21」、「なか区民活動センター祭り」を同時開催</p>
予 算 額	2,925千円	
決 算 額	2,925千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 自治会町内会活動 支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めました。また、地域活動におけるコミュニケーションの向上を図るため、その活動を支援しました。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 自治会町内会が開催するイベント時での町内会チラシや加入申込ハガキの配布など、加入促進キャンペーンを実施しました。また、新築マンション建築主等への加入促進の呼びかけなどを行いました。</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業 地域住民の福祉の向上、連帯の増進、災害情報提供に寄与する掲示板の整備を支援することを目的に、その経費の一部を補助しました。 補助件数：35件(新設7件、更新5件、修繕23件)</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 市政及び区政に多大なご協力をいただき、地域社会のリーダーとして活動している自治会町内会長に感謝の意を表し、感謝会を実施(31年3月6日)しました。また、永年勤続の会長に市長・区長表彰を行いました。(受賞者26人(市長表彰13人・区長表彰13人))</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 自治会町内会実務担当者からの補助金交付事務等に関する個別相談、自治会町内会と行政との連絡調整(区連会定例会運営等)等を通じ、自治会町内会の活動を支援しました。</p>
予 算 額	2,843千円	
決 算 額	2,821千円	
差 引	22千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 花いっぱい明るいまち事業		<p>横浜を代表する観光地や繁華街を擁する中区では、不法投棄や違法駐輪等が課題となっています。そこで、これらの場所に区民（主に町内会、公園愛護会、ハマロードサポーター等）と協働で花壇やプランターを設置し花を植えることで、不法投棄等をされにくくするための環境整備に取り組みました。また、来街者へのおもてなしが求められる中、平成30年度は、ラグビーワールドカップ2019™の機運の向上、市民等へのPRを図るため、イベント対応型花壇として期間限定で開港広場公園に花壇を設置し、維持管理を行いました。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策 ア 花苗の提供 : 2,224株 (中区公園愛護会、町内会など41団体へ配布) イ 花壇・プランター設置 : 10か所 ウ ハローよこはまで中区の花チューリップの球根を配布</p> <p>(2) 花いっぱい省エネ対策 ア 花緑のカーテン : 4か所</p> <p>(3) 園芸講習会 ア 春季(30年5月開催 愛護会ミーティング) 45人 イ 冬季(30年9月開催 アメリカ山公園講習会) 35人</p> <p>(4) イベントおもてなし ラグビーワールドカップ2019™PR花壇</p>
予算額	1,250千円	
決算額	1,275千円	
差引	△25千円	
所管課	中土木事務所	

事業名		事業内容
8. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しました。また、区の地域性に応じて策定した読書活動推進目標に基づき、区役所・図書館・学校・区民利用施設のほか、読み聞かせなどの地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進しました。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター） ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り（30年10月7日）、登録団体との連携講座、多文化共生ボランティア活用事業（30年7月23日外国人向け工場見学）、中区民利用施設スタンプラリー（30年8月20日～9月30日）等 イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行（隔月発行）、街の先生ガイド発行（30年4月）、区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）等</p> <p>(2) 区民活動スタートアップ支援事業 自立的な活動支援のため、活動初期の2団体の事業に対し補助金交付</p> <p>(3) 生涯学習事業 本牧地域でボランティア活動する人材育成講座を実施しました。 「なかく風おこせプロジェクト」（再掲「3賑わいづくり推進事業」）</p> <p>(4) 文化活動支援 特別共催の2事業と、共催・後援事業の支援を行いました。</p> <p>(5) 読書活動推進事業 中区ブックフェスタ2018、本活コミュニケーション等を実施しました。</p>
予算額	2,442千円	
決算額	2,120千円	
差引	322千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
9. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組んでいきます。</p> <p>(1) 三塔の日イベント開催 (31年3月10日) 横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館(ジャック)、横浜税関(クイーン)、神奈川県庁(キング)で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等を開催しました。</p> <p>(2) 開港記念会館の運営等 老朽化による緊急対応で音響備品を購入</p> <p>(3) 見学者向けリーフレットの配布 施設見学者向けに多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)のリーフレットを配布しました。</p> <p>《参考》 ・工事による休館(建築局長寿命化工事) 30年11月5日から12月28日まで受変電設備等更新工事及び空調設備更新工事により休館し、講堂等の貸出しや見学は行いませんでした。 事務室のみ9時から19時まで短縮営業しました。 30年12月29日から31年1月3日までは、年末年始休館。</p> <p>・開港記念会館保存活用検討事業(市民局) 市民の貴重な文化資源である観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し、施設の魅力向上を図るため、躯体の現況調査を実施するとともに保存活用の内容を検討しました。</p>
予算額	1,780千円	
決算額	2,154千円	
差引	△374千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
10. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、スポーツ推進連絡協議会や青少年指導員協議会等の関連団体と連携して事業展開しました。</p> <p>(1) スポーツ交流促進事業 ア スポーツ推進委員活動支援(地区活動、研修会、ドッジボール大会、ソフトバレーボール大会など) イ 体育協会活動支援(スポーツの区民大会開催や情報提供等)</p> <p>(2) 青少年指導員活動支援事業 ア 青少年指導員活動支援(地区活動、研修会等) イ 社会環境浄化活動支援(区内のパトロールの実施等)</p> <p>(3) 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>(4) 青少年交流事業 なかくっ子クルーズ(30年6月22日:3校171人)、ENEOS杯フットサル大会(31年1月27日、約80人)、YC&ACキッズフットサル大会(31年3月3日:約100人)</p> <p>(5) 文明開化ウォークラリー推進事業 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体(青少年指導員・スポーツ推進委員)が主体となり開催(30年5月20日、57組174人)</p> <p>(6) 中区民健康づくり推進事業 ア 区内小学生国際なわとび推進事業の実施(31年1月27日、4校5チーム70人) イ ラジオ体操普及事業の実施(地域指導者講習会、地域への指導者派遣) ウ ランニングクリニックの実施(31年1月19日、2月23日、3月16日)</p> <p>《参考》(市民局区配付予算) ・大規模スポーツイベントの機運醸成事業 (1) ラグビーW杯:小学生ラグビー教室、YC&ACラグビー教室、ハローよこはまラグビー体験ブース出店 (2) 東京2020大会:オリンピックによるソフトボールクリニック</p>
予算額	7,202千円	
決算額	6,914千円	
差引	288千円	
所管課	地域振興課	

2 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が、身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、地域での子育て支援を推進しました。また、学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援しました。</p> <p>(1) グランマ保育園 区内の保育所等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外の乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行いました。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行いました。(育児支援ルーム利用人数：2,112人、親子の保育体験：17組)</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の改訂 子ども連れで安心して楽しめるスポットをまとめた「おでかけスポットマップ」を改訂し、内容を充実させ、子育て情報を分かりやすく提供しました。(発行部数：6,000部)。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間作りができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作りました。(5回、参加185人)</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 待機児童ゼロを目指して、「中区保育所等のしおり」を作成し、開港記念会館で保育所等利用申請説明会を10月に開催し、利用申請の方法や各園の情報などを紹介しました。(30年10月17日、175人)</p> <p>(5) 学校・家庭・地域連携事業 学齢期において、学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子どもの学習環境や生活環境を整えました。</p> <p>《参考》(こども青少年局区配付予算) ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」の実施(30年7月9日、149組) ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」の開催(30年11月7日、28園389人)</p>
予算額	4,502千円	
決算額	3,566千円	
差引	936千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
2. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てできるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供しました。</p> <p>(1) 地域の見守り力アップ事業 児童虐待防止に関する地区別研修(2回、22人)を継続実施するとともに、関係者向け研修(保育園向け：参加42人、支援者全体向け：70人)を実施しました。またスーパーバイザーを活用し、事例検討会(6回、延91人)を実施しました。</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 初めての子育てを安心してスタートできるように、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催しました。(70回、延1,875人)</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 乳幼児健診について、きょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行いました。(乳幼児健診72回実施、未受診101件訪問)</p> <p>(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶことのできる教室や講座を開催しました。(ベビーマッサージ教室6コース12回延数142人、乳幼児養育者に対する育児教室12回延129人、発達障害児支援事業12回延数235人)</p> <p>(5) ひとり親家庭に対する相談支援の強化 児童扶養手当の現況届の受付に来庁する機会を捉えて、生活状況の聞き取りや各種手続の支援を丁寧に行うことで、ひとり親家庭に対する相談支援を強化しました。</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援強化プログラム 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が生活をしていくためのスキルを身につけるきっかけとなるような体験会を実施しました。 ・親向け講演会(30年12月14日、64人) ・こども支援プログラム(小学生向け：30年8月15日、47人) (中学生向け：30年8月14日、6人) ・学校関係者向け研修(30年11月12日、35人)</p>
予算額	4,947千円	
決算額	4,638千円	
差引	309千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
3. 寿地区保健対策事業		<p>寿地区居住者に対して、生活習慣病予防や食生活改善等の保健対策を推進しました。また、結核予防対策として、結核検診勧奨を適切に行い検診を実施するとともに、確実な服薬支援が継続できるよう、関係者との連携を強化しました。</p> <p>(1) 保健対策事業 寿地区居住者に対し、生活習慣病予防や食生活改善を行い、健康な生活が送れるよう支援しました。 ア 個別栄養相談 (24回 (2回/月) 90人) イ 関係機関等向け研修 (3回、50人)</p> <p>(2) 結核対策事業 結核の早期発見・早期治療を目指し結核検診を実施しました。また、確実な治療完了を目指し服薬支援を充実しました。 ア 集団検診 受診者582人⇒結核確定1人 イ 服薬支援の充実：結核患者の直接服薬確認療法 (DOTS) の充実 (ア) DOTS実施医療機関との月カンファレンス (月1回) (イ) 医療機関及び服薬支援薬局との連絡会 (30年10月24日)</p> <p>※平成30年度で区づくり事業終了。 ※令和元年度は区配事業に統合し、引続き寿地区保健対策事業を実施しています。</p>
予算額	515千円	
決算額	392千円	
差引	123千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
4. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を地域等と協働で実施し、区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを推進しました。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 健康測定 (骨密度測定等) や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、健康づくりの大切さを認識するきっかけを作りました。 ア 4か月乳幼児健診会場での定期実施 (24回、714人) イ 地域会場やイベントでの随時実施 (10回、891人) ウ 保健活動推進員向け測定機器取扱研修 (30年7月3日、21人) エ 妊娠糖尿病予防健診 (30年11月15日 12人)</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 区民利用施設との協働によるウォーキング講座、保健活動推進員等向け講座、地域へ出向きウォーキング講座を開催し運動を通じた健康づくりに取り組みました。 ア 子育て世代向け講座 (1回、9組) イ 保健活動推進員等向け講座 (1回、46人) ウ 地域向けウォーキング講師派遣 (4地区)</p> <p>(3) 元気フェスタ21事業 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し健康増進に向けた啓発活動を実施しました。(30年10月7日 延べ6,880人)</p> <p>(4) 食育推進事業 ア 食事相談、講座等を通じ、食を通じた健康づくりに取り組みました。 (ア) 個別食事相談 (12回、102人) (イ) 子育て支援拠点での講座 (12回、133人) (ウ) 飲食店や学校等との協働による講座 (30年11月29日 33人、30年12月26日 16人) (エ) 食育イベント (30年6月14日 189人) イ 食育従事者支援のための研修会やネットワーク会議を開催しました。 研修会 (30年10月11日、30人)、会議 (31年3月13日、9団体13人)</p>
予算額	2,439千円	
決算額	1,869千円	
差引	570千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
5. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者の地域交流促進や介護予防等に取り組みました。この他、在宅医療の推進を目指し、地域ケア会議や事例検討会を実施し、医療と介護関係者の連携を強化しました。また、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携し、「居場所づくり」等の支え合い助け合う地域活動を推進しました。</p> <p>30年3月に策定した「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」を関係機関や団体に配付し協力を依頼した他、区民に高齢期に向けた準備について啓発を行いました。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、中区老人クラブ連合会が主催する各種行事を支援した他、老人クラブの設立や加入を呼びかけるチラシを5,000部作成し、町内会班回覧を行いました。 また、区内銭湯で寄席等のイベントを開催（4回）し、地域交流の促進を図りました。</p> <p>(2) 介護予防事業 中区版コグニサイズDVDを100枚作成し、介護予防等に取り組む支援者や地域の活動グループ等に配布しました（63枚配布）。</p> <p>(3) 認知症支援 ア 認知症高齢者等の介護者を支援するため、臨床心理士による介護者のための個別相談（18回、36人）及び啓発講演会（30年9月21日、22人）を実施しました。 イ 認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に理解のある協力企業等を「認知症サポーター企業」として認証しました。</p> <p>(4) 寿地区の高齢者支援等に関する検討 寿町健康福祉交流センターで、寿地区高齢者の介護予防や健康維持のための個別支援が円滑に行われるよう、有識者や関係者間で検討会を実施しました（9回実施）。</p>
予算額	1,997千円	
決算額	1,708千円	
差引	289千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
6. 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業		<p>自分たちが暮らすまちを、それぞれの地域の個性や魅力が生きる、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちにするために、様々な主体が協働して中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を推進しました。</p> <p>(1) 中区地域福祉保健計画推進事業 ア 第3期計画（平成28～32年度）中間振り返りの実施 地域や区役所等のこれまでの活動・施策を振り返りを実施し、残り2年の計画推進の方針を確認しました。 中なかいいネ！推進会議（30年6月29日、31年1月25日） 地区別推進会議13地区延59回 イ 第4期計画策定に関する課題整理 第4期計画策定に向け、第3期計画について地域関係者等にインタビューし、課題の整理をしました。 ウ 地域ケアプラザ等での多文化共生の取組 外国人との交流推進を目的に、地域や地域ケアプラザのイベントの多言語チラシを作成しました。</p> <p>(2) 中なかいいネ！みんなで見守り推進事業 民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、自治会町内会関係者など様々な担い手が連携した見守りや地域ケアプラザが実施する見守りキーホルダー事業で地域の中での多様な見守り活動を推進しました。</p> <p>(3) 「福祉保健センターからのお知らせ」発行事業 窓口配布分6,700部（参考：広報よこはま折込分76,000部）、録音版の作成（区役所・区社会福祉協議会で貸出）</p>
予算額	2,773千円	
決算額	2,553千円	
差引	220千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
7. 中区障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けることができるよう、区内の関係機関が連携して支援できる体制づくりに取り組みました。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図りました。 ア 自立支援協議会の開催 (38回) イ 支援者向け研修会の開催 (全8回：全体研修2回、部会研修6回)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 協力商業施設等での定期販売や、ポレポレまつり等、区内で開催されるイベントでのポレポレグッズ(障害者作業所製品)販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援しました。 ア 販路拡大委員会(中区障害者団体連絡会)に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会の運営支援(6回) ウ ナカナ・カフェ運営委員会の運営支援(6回) エ 区役所内定期販売会の支援(12回)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 障害者差別解消法の理念である「共生社会の実現」に向け、障害に対する理解を推進するため地域社会への働きかけを積極的に行いました。 ア 啓発ポスター・チラシを作成し、公共機関等への掲示やイベントでの配布 ※30年度は「待合室編」として病院・薬局等に掲示。 イ 中区防災拠点訓練(山元小学校・本町小学校)で出前講座(車いす体験講座)を実施</p>
予算額	920千円	
決算額	864千円	
差引	56千円	
所管課	高齢・障害支援課	

3 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名		事業内容
1. 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、中区は、協議会に対し、活動への補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を都市整備局、文化観光局、市民局と連携しながら行いました。</p> <p>また、まちの活性化には、更なる活動の参画者・担い手を増やしてことが重要であるため、地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけでなくアーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 ア 防犯啓発活動イベント等の開催（防犯パトロール毎月ほか） イ 地域防犯拠点（ステップワン、ステップスリー）の運営・管理 ウ 協議会定例会等の開催（総会1回、役員会8回、定例会11回） ※「参加しやすい定例会」の取組として、30年度は協議会の休日・夜間開催を通じて、地域の意見の集約及び町内会の新たな担い手の発掘に繋げました。</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 ア 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援 イ 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援 ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案 エ 地域活動に係る広報活動の支援（ホームページ運営、「まちづくりニュース」の編集、視察・記者対応補助等）</p>
予算額	2,000千円	
決算額	1,979千円	
差引	21千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. エコ・食・暮らし安心風土広め隊		<p>振り込め詐欺や悪質商法被害未然防止のための啓発活動、自立的な消費者の育成や持続可能な消費の実践に向けた教育・啓発活動を推進することにより、暮らしに関する区民の関心を高め、区民自らが「未来を見据えた賢い暮らしの行動」を選択する安心風土の醸成を図りました。</p> <p>(1) 消費生活推進員の育成 消費生活推進員が主体的に地域での活動を企画実施できるよう交流や研修の機会を提供し、支援しました。 ア 地区代表会議の開催（毎月1回、8月・12月を除く） イ 研修の実施（啓発講座の開き方：入門編30年6月6日、応用編30年6月27日）</p> <p>(2) 消費生活推進員による地区活動の支援 地区連合町内会を基本単位として8地区を構成。各地区で実施する振り込め詐欺被害未然防止活動や悪質商法未然防止啓発活動や暮らしに関する講座等の開催を支援しました。（各地区、年2回以上）</p> <p>(3) 中区消費生活推進員啓発事業の支援 消費生活推進員が消費生活に関する課題について学習し、知識を習得するとともに、広く区民に情報提供を行う活動を支援しました。 ア 暮らしのセミナーの開催 (ア) エコ・クッキング講座（30年8月29日） (イ) 「冷凍食品の基礎知識と安全性」～国内外で生産される種類・検査・流通～（30年10月25日） (ウ) 誰も教えてくれなかったお片付けの基本（30年12月13日） (エ) 施設見学会 ANA工場見学と築地市場見学（30年5月7日） イ 区民まつりにおけるキャンペーン（30年10月7日、象の鼻パーク） ウ 消費生活展・善意バザー（31年2月9日、上台集会所） エ 情報紙の発行（31年2月、5,000部） オ エコキャンドルワークショップ（30年12月23日、イセザキモール）</p>
予算額	860千円	
決算額	853千円	
差引	7千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス（食べ残しや手つかず食品）の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みました。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動</p> <p>ア 区内のイベントや店頭啓発（23回）、環境学習（4回）、中区分別相談窓口（22回）で3R夢啓発活動を実施</p> <p>イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化 小型家電、リユース文庫（3,768冊）、水銀含有製品回収（80個）等</p> <p>ウ イベント等で出されるごみの分別徹底を促すため、ごみ箱を無料貸与する「中区イベント用ごみ箱貸出事業」を実施（14件）</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY 区民・事業者・ボランティア団体による清掃活動 （30年5月19日、664人）</p> <p>(3) 美化運動支援事業 まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援（30件）</p> <p>(4) まちの美化対策事業</p> <p>ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ（8回、約550人）や、ごみの排出状況改善と不法投棄防止に向けた取組を実施</p> <p>イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策を実施</p> <p>ウ 外国人への啓発として分別講座（1回）・施設見学会の開催</p> <p>(5) 3R夢推進大会（31年3月18日） まちの美化推進に貢献した個人7人、14団体へ区長感謝状贈呈</p> <p>(6) 美化推進員事業 美化推進員による美化推進重点地区の軽微な清掃</p> <p>(7) 温暖化対策事業 打ち水キャンペーン（2回）、打ち水用具の無料貸与を実施（3件）</p>
予算額	2,936千円	
決算額	2,408千円	
差引	528千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図りました。特に、地域防災拠点の機能強化については、発災時の円滑な拠点開設を目的とした「初動対応セット」の試作品製作や多様な視点を取り入れた避難所運営等の啓発を進めました。さらに、災害時の担い手育成として、中学生を対象とした「地域防災拠点支援ガイド」を作成し、区民の自助・共助の意識を醸成しました。</p> <p>また、大地震や風水害の対策に向け、各種訓練を通じ、関係機関と連携を密にすることで、発災時に備えた顔の見える関係作りを進めました。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <p>ア 地域及び企業等に対する減災支援 減災説明会、防災減災推進研修、防災まち歩き等（17回、939人）</p> <p>イ 絆月間における防災・減災講演会 （開港記念会館：31年3月17日、約300人）</p> <p>ウ 地震・風水害対策等の啓発 即時避難勧告区域へのポスティング （30年6月26日～29日、480世帯）</p> <p>(2) 災害時の担い手育成事業 防災出前教室（通年） 小中学校を対象に防災教育の出前教室を実施（13回、2,844人） 中学生と共同で、地域防災拠点支援ガイドの作成（2,000部）</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <p>ア 中区総合防災フェアの実施（立野小学校：30年11月17日、約400人）</p> <p>イ 情報受伝達訓練の実施（31年1月17日、100人）</p> <p>ウ 帰宅困難者対策訓練の実施（JR桜木町駅、地下鉄桜木町駅、横浜第二合同庁舎：31年3月18日、120人）</p> <p>エ 地域防災拠点の充実及び訓練の実施（全15拠点、5,291人）</p> <p>オ 本部体制の充実及び災害対策（警戒本部設置15回 動員人数:228人）</p> <p>カ 各種会議等の開催（災害対策連絡協議会総会等 計4回）</p>
予算額	6,732千円	
決算額	6,105千円	
差引	627千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
5. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>中区民暮らし安全推進協議会を中心に、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、地域の特性に応じた防犯対策を推進しました。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業</p> <p>ア 中区民暮らし安全推進協議会総会の開催 (30年5月22日)</p> <p>イ 各種防犯キャンペーンの実施・参加 街頭犯罪抑止対策早朝駅頭キャンペーン (30年5月21日、10月11日) 安全・安心まちづくり旬間キャンペーン (30年10月11日～20日)</p> <p>ウ 地域自主防犯活動委員会の開催 (各地区連防犯担当者会議) (30年5月16日、7月18日、9月19日、11月21日、31年3月13日)</p> <p>エ ハローよこはま2018へのブース出店 (30年10月7日)</p> <p>オ 寄席de防犯～地域の安全・安心な生活を考える集い～ (31年2月26日 にぎわい座 来場者：207人)</p> <p>カ 4警察・4防犯協会/防犯協力会・区役所合同会議の開催 (30年9月28日、12月7日、31年3月15日)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信 Eメール配信登録者：1,426人 (31年3月末)</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 防犯活動費等の支援や防犯活動物品の貸与等を実施しました。 対象：地区連合町内会、中区PTA連絡協議会、小学校等</p> <p>(4) 防犯教室事業 警察や民間企業と協働して開催しました。</p> <p>ア こども防犯教室の開催 (小学校、保育園等) 30年6月～31年1月：12回開催 (計875人)</p> <p>イ 高齢者防犯教室の開催 30年12月8日 (加賀町警察署)、31年2月26日 (にぎわい座)</p>
予算額	2,364千円	
決算額	2,307千円	
差引	57千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>放置自転車対策として街頭キャンペーンや監視啓発活動を実施し、また、警察や学校、地域等の関係団体と連携して交通安全啓発に取り組みました。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 地域からの要望エリアについて協議を行い、禁止区域の拡大を行うとともに、啓発キャンペーン等を実施しました。</p> <p>ア 関内駅周辺禁止区域拡大：31年4月1日</p> <p>イ 中華街：地域や関係機関とともに「中華街をきれいな町にする会放置自転車啓発キャンペーン」を実施しました。(年8回)</p> <p>ウ イセザキモール：駐輪場設置や放置禁止区域拡大に向け、地域・関係機関と協議を行い、合同パトロールを実施しました。(年11回)</p> <p>(2) 交通安全啓発事業</p> <p>ア 中区交通安全対策協議会の活動支援、各季の全国交通安全運動キャンペーンを4警察署と連携して実施しました。 (30年4月6日：神奈川県立博物館から横浜公園までをパレード、30年10月7日：ハローよこはま2018で、交通安全フェアを実施 等)</p> <p>イ はまっ子交通安全教室、こどもポスターコンクール、スクールゾーン対策協議会の支援など、児童の交通安全対策を実施しました。</p> <p>ウ 交通安全シルバーリーダーの活動支援や高齢者交通安全教室など高齢者の交通安全対策を実施しました。</p> <p>エ 自転車マナー啓発リーフレットの配付</p> <p>《参考》(道路局区配付予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (30年11月27日、横浜吉田中学校)
予算額	1,578千円	
決算額	1,536千円	
差引	42千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>区民や中区を訪れる人々の安全で安心な食を実現するため、健康危機管理の強化に関する支援や食品衛生に関する正しい情報発信を行いました。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保</p> <p>ア わかりやすく効果的な監視指導 監視指導件数 (4,411件)</p> <p>イ イベントでの食品提供に対する事前指導 事前指導件数 (357件)</p> <p>ウ 外国語啓発チラシ配布 (ア) 手洗い啓発チラシ (中華街一斉：中国語178部) (イ) 食中毒予防啓発チラシ (中華街一斉：中国語178部)</p> <p>(2) 食中毒・感染症予防対策</p> <p>ア 感染症対策指導者養成研修 (2回：33人／30年10月、11月)</p> <p>イ 食中毒・感染症拡大防止のための調査及び監視指導 食中毒発生・対応件数 (6件)</p> <p>(3) 食の安全に関する情報発信</p> <p>ア 出前講座・食品衛生講習会 地域住民や食品取扱施設従事者を対象とした食の安全に関する講習及び手洗いや加熱調理に関する実技指導 (57回、延4,394人)</p> <p>イ 食の安全及び薬物乱用防止に関するパネル展 (30年6月～3月)</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン (ア) イセザキモールにおける食中毒予防パレード (30年8月1日、300人) (イ) 飛鳥Ⅱ船内探検キッズツアー (30年8月19日、35組70人) (ウ) ハローよこはま (元気フェスタ21) への食品衛生ブースの出展 (30年10月7日、1,000人)</p>
予算額	1,420千円	
決算額	468千円	
差引	952千円	
所管課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>飼い主のマナー不足に起因するペットによる事故や苦情が発生していることから、マナー向上のための啓発に継続的に取り組みました。</p> <p>また、地域防災拠点での災害時ペット対策の支援と啓発を行いました。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業</p> <p>適正飼育とマナー向上に関する啓発を推進しました。</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場での啓発 (区獣医師会等と連携) 期間：30年4月3日～21日 (7か所) 啓発実施者数：延約600人 (注射頭数：649頭)</p> <p>イ イベント会場での啓発を実施 (動物適正飼育推進員等と連携) 30年5月～31年3月 (9回)</p> <p>ウ 大規模公園等での巡回指導 (施設管理者等と連携) 30年4月～31年3月 (3か所、延16回)</p> <p>エ 犬の飼い方講習会 (31年2月23日、33人) ペットの健康管理やしつけについての講習会を行いました。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業</p> <p>ア 防災拠点での検討取組み支援 (4拠点) (ア) モデル拠点におけるペット対策の住民組織支援 (1拠点) 検討会を8回開催し、拠点ルール住民への周知方法を検討し、チラシを作成しました。 (イ) 地域防災拠点運営委員会への助言・支援 (3拠点) 2拠点でペット受け入れのルールが策定されました。</p> <p>イ 拠点訓練等における啓発 (6回) パネルや避難グッズ等の資料展示、説明等を行いました。</p> <p>ウ ペット同行避難訓練の実施 (2拠点) 実際のペットと飼い主による避難シミュレーションを行いました。</p> <p>エ 区民向け講習会 (31年3月17日、29人) 防災拠点関係者や飼い主に、日頃の準備の必要性を周知しました。</p>
予算額	843千円	
決算額	502千円	
差引	341千円	
所管課	生活衛生課	

4 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1. 感動区役所推進事業		<p>区民満足度向上（感動区役所）を目指すため、区民サービスへの職員意識向上を推進しました。</p> <p>(1) CS向上事業</p> <p>ア CSリーダー・サブリーダー研修実施（30年9月25日、11月8日、31年1月9日、2月25日）</p> <p>イ 職員による外国語サポーター登録制度の活用（登録者6人）</p> <p>(2) ES向上事業（中LOVE♡プロジェクト）</p> <p>ア プロジェクト募集（30年4月16日）、中間報告（30年10月2日）、最終報告会（31年3月12日）（8プロジェクト、82人活動）</p> <p>(3) 人権啓発事業</p> <p>ア 区民・区内企業対象の人権啓発講演会（31年1月23日、テーマ「心の抛り所-寿町のお地藏さん-」、248人）</p> <p>イ 責任職及び職員対象の人権啓発研修（30年6月～31年2月）</p> <p>(4) 親しまれる区庁舎改善事業</p> <p>ア 総合窓口案内・警備業務委託（通年）</p> <p>イ 本館エントランス・外構等改修基本設計等（30年6月～31年3月）、本館案内サイン更新（31年1月）、生活支援課窓口改修※（31年1月）等</p> <p>※市民局及び健康福祉局区配付予算との合算で実施</p> <p>≪参考≫（市民局区配付予算）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館6階トイレ改修工事
予算額	20,224千円	
決算額	30,608千円	
差引	△10,384千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 多文化共生推進事業		<p>人口の1割強を占める外国人区民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすく行政情報・地域情報を伝えました。また、多文化共生の意識を区全体で共有し、多様な人が共に暮らす社会を実現するための取組を行いました。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業</p> <p>Naka Wawd Town News（英語）と春夏秋冬（中国語）を発行し、の外国人区民に役立つ生活情報、行政情報等を掲載しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行回数及び発行数：年4回（英語各4,100部、中国語各4,100部） 夏号（30年7月）風水害に備えよう 秋号（30年10月）中区ってこんな町 冬号（31年1月）乳幼児健診 春号（31年4月）子どもの呼び寄せを考える <p>(2) 外国語ホームページ運営事業</p> <p>英語、中国語、ハングル、やさしい日本語のホームページを月1回更新しました。特集、イベント情報、生活情報等を掲載し、タイムリーな情報提供を行いました。</p> <p>(3) 区民生活マップ作成事業</p> <p>区民生活マップは、日本語版及び外国語版（英語、中国語）を発行しています。30年度は日本語版を作成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：30,000部 ・発行実績：中国語（H29）、英語（H27）、日本語（H26）、日本語（H24）、中国語（H23） <p>(4) アクションプラン事業</p> <p>新しく中区に転入してきた外国人区民を対象に、必要最低限の情報を母語で伝えるウェルカムリーフレットを作成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数：英語（2,400部）、中国語（3,800部）、ハングル・ベトナム語（各400部）
予算額	8,295千円	
決算額	5,315千円	
差引	2,980千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3. 広報・広聴事業		<p>広報よこはま・なか区版の発行、「市民からの提案」等の広聴の受付・回答、法律相談及び中区ホームページの運営、ツイッター等による情報発信を行いました。</p> <p>(1) 広報事業 広報よこはま・なか区版を市版とあわせて毎月1回発行しました。 (月平均発行部数：77,267部) ホームページ「中区フォト通信」発信件数：153件 ツイッター発信件数：471件 ツイッターフォロワー数：5,070人(30年度末時点、全18区中2位)</p> <p>(2) 広聴事業等 「市民からの提案」等の広聴に対応しました。 市民からの提案受付件数：653件(全18区中2位)</p> <p>(3) 特別相談事業 弁護士による法律相談を、毎月第1～3火曜に行いました。 利用件数：185人 また、公証人による公証相談及び行政書士による行政書士相談についても併せて実施しました。</p>
予算額	9,146千円	
決算額	9,016千円	
差引	130千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
4. なか国際交流 ラウンジ運営事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めました。</p> <p>(1) 日本語が全くできない外国人のための日本語教室事業 ア 日本語教室開催(前期40人:30年5月15日～10月11日、後期37人:11月～31年3月) イ 日本語教室受講者へ防災講習(30年6月28日)、ごみ分別講習(31年1月22日)</p> <p>(2) 日本語ボランティア養成事業 (各ボランティア教室と連携) ア 日本語ボランティアの養成 入門講座(全8回、30人)、ボランティア勉強会(30年10月23日、11人)、ブラッシュアップ講座(全3回、48人) イ ボランティア日本語教室連絡会の開催(30年5月30日、12月14日)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 ア 国際理解セミナーの開催 (30年10月20日「日本に暮らすネパールの人々」他1回、46人) イ 多文化フェスタ開催(30年9月23日 開港記念会館、約750人) ウ 地域と連携した多文化交流会の開催(30年12月8日、51人)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア育成・活用事業 ア 地域のイベント等に通訳を派遣(6件、31人) イ 地域の作成するチラシ等をボランティアが翻訳(10件、34枚) ウ ボランティアを募集・育成し、コーディネートを実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 各課発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳(23件、114枚)</p> <p>(6) その他運営・事務費等</p>
予算額	5,109千円	
決算額	4,495千円	
差引	614千円	
所管課	地域振興課	

議題（3）

令和元年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業費執行状況

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名		事業内容
1. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。特に区民の自助・互助の意識の醸成や災害時の担い手育成を進めるため、幅広い世代への啓発を実施します。また、地域防災拠点において、外国人や女性の視点等、多様なニーズに応えるとともに、誰もが円滑な拠点運営が出来るよう、「初動対応マニュアルセット」の整備を進めます。併せて、本部機能充実のため、本部訓練の充実及びデジタル簡易無線等を活用した情報受伝達手段の多重化を図ります。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業 (2,210千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域及び企業等に対する減災支援 (通年) (現在：3回、109人) イ 中区総合防災フェア (防災アトラクション) 【拡充】 (実施場所：産業貿易ホール 実施日：9月28日 募集予定人数：600人) ウ 防災・減災講演会 (実施場所：開港記念会館 実施日：11月30日) エ 地震・風水害対策等の啓発 (通年) <p>(2) 災害時の担い手育成事業 (510千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災出前教室 (通年) (現在：2回、206人) 拠点訓練との合同開催を進めると共に、中学生には「中区地域防災拠点支援ガイド」を全校生徒に配布 (2,200部配布：昨年度2,000部作成、今年度1,000部増刷) イ 災害時に活用できる救助資機材取扱研修 (9～12月) <p>(3) 防災訓練・災害対策事業 (5,498千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 外部講師を招いた本部運営訓練の実施 (2年2月) 【拡充】 (イ) 情報受伝達訓練の実施 (2年1月) (ウ) 帰宅困難者対策訓練の実施 (実施場所：元町・中華街駅 11月13日) イ 地域防災拠点の充実及び訓練の実施 (拠点訓練：8月31日より随時) 全15拠点に地域防災拠点初動対応マニュアルセットの作成・配布 【新規】 ウ 本部体制の充実及び災害対策 (通年) <ul style="list-style-type: none"> (ア) デジタル簡易無線及びアンテナの設置 【新規】 (イ) マリンFMとの協定締結 (8月26日) 【新規】 エ 各種会議等の開催 (通年)
予算額	8,218千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円)</p> <p>中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 総会の開催 (5月22日) イ 各種防犯キャンペーンの実施 (5月11日・10月) ウ ハローよこはまへの出店 (10月13日) エ 地域の安全・安心を考える集い「寄席de防犯」の開催 (2年2月25日) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催 (年5回) <p>(2) 防犯情報配信事業</p> <p>各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはまなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校 (4月に新1年生へ防犯ブザー貸与) <p>(4) 防犯教室・講座 (寄席de防犯など) 事業 (427千円)</p> <p>地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
予算額	2,364千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故への対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、地域と連携しながら、日本大通りの放置自転車対策に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円)</p> <p>ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援</p> <p>イ 各キャンペーンへの参加</p> <p>ウ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力</p> <p>エ 放置自転車等移動要望への対応</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,428千円)</p> <p>ア 中区交通安全対策協議会への支援</p> <p>イ 中区交通安全子どもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～)</p> <p>ウ スクールゾーン対策の実施 (7月～)</p> <p>エ 各団体への補助金交付 (6月)</p> <p>オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援</p> <p>カ 交通安全教室・交通安全運動への協力</p> <p>キ 高齢者及び自転車交通事故対策会議の開催 (年2～3回)</p> <p>ク 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園に配布 (5月)</p> <p><参考> (道路局区配付予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (11月27日、横浜吉田中学校)
予算額	1,578千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プラン」の最終目標達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス (食べ残しや手つかず食品) の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (178千円)</p> <p>ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口</p> <p>イ 庁舎内設置の資源回収BOX (小型家電、水銀含有製品等)、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化</p> <p>ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY (590千円)</p> <p>区民・事業者・ボランティア団体等による清掃活動 (6月1日)</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円)</p> <p>まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (随時)</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (700千円)</p> <p>ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ (9回) や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施</p> <p>イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策</p> <p>ウ 外国人向けの啓発 (チラシ作成、施設見学会、分別講座)</p> <p>(5) 3R夢推進大会 (350千円)</p> <p>まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈及び講演会の開催</p> <p>(6) 温暖化対策事業 (150千円)</p> <p>打ち水キャンペーンや打ち水用具を無料貸与 (随時)</p>
予算額	2,336千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業		<p>中区は、地域の環境浄化を進めるため、自主的な活動を行っている協議会に対して活動補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行っています。</p> <p>なお、都市整備局は、小規模店舗の借上や企業との調整、文化観光局は現代アートを通じた賑わいづくり、市民局は環境浄化・地域防犯力向上を目的とした活動の支援を行っており、中区は関係局と連携しながら取組を進めています。</p> <p>環境浄化が進む一方、新たな住民の増加により、過去の事実やまちの安全安心に対する認識が薄れる恐れもあり、予断を許さない状況です。まちの活性化には、更なる活動の参画者・担い手を増やしていくことが重要です。地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に係わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しています。このような活動に係る協議会等への支援も通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 (500千円)</p> <p>ア 各部会による活動の実施 (防犯パトロール毎月ほか)</p> <p>イ 地域防犯拠点の運用</p> <p>ウ 協議会定例会等の開催 (総会1回、役員会4回、定例会3回)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <p>ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p>
予算額	2,000千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
6. 花いっぱい明るいまち事業		<p>本事業では、主にごみの不法投棄や違法駐輪が問題となっている場所に、区民（自治会町内会、ハマロードサポーター、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで不法投棄等をされにくくするための環境整備等に取り組みます。また、夏場の省エネ対策として、公共施設等に花緑のカーテンを設置し、緑化の普及啓発を行います。</p> <p>さらに、来街者へのおもてなしが求められる中、大規模なイベント等に向けた「おもてなし花壇」を設置して、歓迎とおもてなし気運の向上、市民等へのPRに取り組みます。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策 (550千円)</p> <p>ア 花苗提供 1,800株</p> <p>イ プランター設置・維持管理 10か所 実施予定箇所：本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園</p> <p>ウ 種まきイベント 4か所</p> <p>エ 花緑のカーテン設置 4か所 実施予定箇所：山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(2) 普及啓発 (50千円)</p> <p>ア 園芸講習会 2回 (年)</p> <p>イ 概要 9月 秋季園芸講習会 2年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(3) イベントおもてなし (650千円)</p> <p>ア おもてなし花壇設置</p> <p>イ 対象イベント ラグビーワールドカップ2019™ 等</p>
予算額	1,250千円	
所管課	中土木事務所	

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効率的かつ効果的な監視指導の実施と、従事者や消費者に対する衛生教育・情報発信の充実により、食中毒の発生件数を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業 (860千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的・効率的な監視指導 中華街や区内のホテル、宴会場、社会福祉施設等に対し、迅速検査を併用した監視指導のほか、多言語チラシを活用した啓発を実施しています(中華街一斉監視(中国語チラシ配布):6~7月実施、180件)。</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 赤レンガ倉庫や大さん橋等で開催される食品が提供される大規模イベントの主催者や出店者に対し、衛生的取扱いの指導等を行っています。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 保育園や高齢者施設等の給食施設等に対し、ノロウイルスによる食中毒・感染症や食品アレルギー事故の発生防止を中心に、立入点検や助言を行うとともに、講習会等を通じて食中毒予防を支援します。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (510千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 消費者や食品取扱者に対して、食の安全に関する食品衛生講習会を開催するとともに、自治会や町内会向けに食中毒予防の注意喚起を行っています。</p> <p>イ パネル展 区役所本館、別館庁舎内等において食中毒予防のパネル展を実施しています(7月・8月実施済み、9月第2週実施予定)。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 消費者を対象とした食中毒予防のイベントを、飛鳥II(8月3日実施、参加者31組62人)やイセザキモール(9月5日実施予定)、ハローよこはま(10月13日実施予定)で開催しています。</p>
予算額	1,370千円	
所管課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育を啓発し、事故やトラブルを防止します。</p> <p>災害時のペット対策については、地域防災拠点の関係者を中心に災害時ペット対策の必要性を啓発し、特に飼い主に対しては日頃の準備を中心に啓発を実施します。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時のペット対策の検討やルール作りを支援します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (348千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、獣医師会と連携して、犬の飼主に啓発を実施しました。(4月、6会場、約500人(531頭))</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者に啓発を実施します。</p> <p>ウ 放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携して、散歩中の飼主に対して啓発、指導を実施します。(2か所、3回実施)</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (468千円)</p> <p>ア ペットの飼主や防災拠点関係者等を対象に講習会を開催し、災害時ペット対策の普及を図ります。</p> <p>イ 各地域防災拠点の拠点訓練時に、災害時ペット対策に関する啓発を提案し、同行避難に関する展示やペット同行避難訓練の実施等を支援します。</p> <p>ウ ペット同行避難の検討活動のモデル拠点として取り組んだ大鳥小学校地域防災拠点や他の拠点での検討成果である同行避難のルールやペット受入態勢に必要な資材を、これから検討に取り組もうとする他の拠点の参考として活用できるように拡げていきます。</p>
予算額	816千円	
所管課	生活衛生課	

2 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業		<p>自分たちが暮らすまちを、それぞれの地域の個性や魅力が生きる、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちにするために、様々な主体が協働して中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を推進します。</p> <p>(1) 第4期計画（3年度から7年度）の策定（1,200千円）【新規】 3期までの計画の進捗状況及び課題を踏まえ、計画策定の専門家と共に4期計画の方向性を定め、計画骨子・コンセプトを固めます。 また、地域活動者の意見を聴取し計画策定にいかすため、グループインタビューを実施します。実施にあたっては、公正・客観的な視点で意見聴取を行うため、専門家に実施方法の検討や運営等を委託します。</p> <p>(2) 第3期計画の推進（952千円）【拡充】 計画の更なる推進を図るため、課題対応策や区計画推進会議等の運営について学識者の助言を得ます。また、区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ職員で構成する地域支援チームに対する研修（7月4日、31日）を行い、地域との協働を進めることができるようチーム力の向上を図ります。</p> <p>(3) 地域福祉保健計画の周知（940千円） 中なかいいネ！発表会（2年2月14日予定）の開催や中なかいいネ！通信の発行（年4回）を通じて計画の更なる周知を行い、地域の担い手のモチベーションの維持・向上や、潜在的な地域の担い手の発掘につなげます。</p> <p>(4) 地域ケアプラザでの多文化交流の取組（50千円） なか国際交流ラウンジと連携し、地域ケアプラザで地域の日本人と外国人との交流が推進するようチラシ等の周知やイベント当日の通訳を行います。</p>
予算額	3,142千円	<p><参考>（健康福祉局区配付予算） ・4期計画</p>
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
2. 区民意識調査事業		<p>日常生活を意識と行動の両面から捉え、区民の意識やライフスタイルを明らかにし、施策・事業の企画立案の基礎資料とすること等を目的に、広く区民の声を聴くことができる区民意識調査を行っています（前回：27年度）。</p> <p>第4期中区地域福祉保健計画策定、中区多文化共生アクションプランの改定に向け、地域福祉、多文化共生を中心に、紹介しながら施策・事業に結び付くような設問を設けます。</p> <p>中区区民意識調査の概要</p> <p>(1) 調査項目数：48問程度</p> <p>(2) 調査対象：中区在住の18歳以上の区民4,000人 (内訳) 日本国籍3,500人、外国籍500人 想定有効回答数1,520（想定回収率 38%）</p> <p>※外国籍対象者には英語版・中国版（簡体字）・やさしい日本語を同封</p> <p>(3) スケジュール（予定）</p> <p>7月18日 調査票発送</p> <p>8月9日 調査票回収</p> <p>10月 単純集計結果</p> <p>12月 最終報告書</p>
予算額	2,800千円	<p>《参考》27年度区民意識調査概要</p> <p>1 調査対象 中区在住の20歳以上の区民4,000人（うち外国人408人）</p> <p>2 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出</p> <p>3 調査方法 郵送による配付・回収</p> <p>4 言語 日本語（ルビ無し、ルビ有り）、英語、中国語（簡体字）</p> <p>5 有効回収数 1,507件（うち外国人からの回答88件）</p> <p>6 回収率 37.7%（外国人からの回収率21.5%）</p>
所管課	福祉保健課 区政推進課	

事業名		事業内容
3. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し、地域等と協働でウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開します。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 (1,137千円) 健康測定(体組成等)や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作ります。 ア 4か月児健康診査会場 イ 地域の会場やグループへの出前講座等 ウ 健康づくりのイベント(元気フェスタ21への保健活動推進員出展) エ 保健活動推進員向け測定機器取扱研修(7月2日 30人) オ 可搬・印刷機能付き高精度体組成計の新規導入【拡充】</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 (370千円) 地域へ出向き、地域と協働でウォーキング講座等を開催します。</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21) (250千円) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し健康増進に向けた啓発活動を実施します。(ハローよこはまと同時開催)(10月13日)</p> <p>(4) けんしん啓発事業 (200千円) 【新規】 けんしん受診率の向上のため、新たに保健活動推進員等の関係団体と連携し、がん検診や特定健診の受診啓発を行います。</p> <p>(5) 妊娠糖尿病対策事業 (278千円) 【新規】 18区に先駆け妊娠糖尿病の罹患者に対し健康教育を実施します。</p> <p>(6) 食育推進事業 (380千円) ア 食生活等改善推進員会やJA横浜等の関係団体や飲食店と連携し、乳幼児、学齢期、高齢者等を対象に年代別の個別食事相談や講座、イベントを開催します。(6月13日食育マルシェ 228人) イ 食育の関係者向けの研修を開催するとともに、ネットワークを構築します。</p>
予算額	2,615千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
4. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>30年3月作成の「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (1,040千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援する他、チラシやグッズの作成・配布を通じ、老人クラブへの関心を高めます。また、銭湯を会場とした寄席等のイベントを実施し、公衆浴場が地域の交流・介護予防活動の場となるよう支援します。 9月の敬老月間に区内特別養護老人ホームを訪問し祝品を贈ります。</p> <p>(2) 介護予防事業 (220千円) 30年度に作成した「中区版コグニサイズDVD」を講座等で活用するとともに、受講者が様々な場で実践できるよう、コグニサイズのプログラムを例示した啓発用手ぬぐいを6月に900枚作成しました。地域のイベント等で配布し、グループでの自主活動等に活用されています。今後もリーフレット配布等と併せ、普及啓発を進めていきます。</p> <p>(3) 認知症支援 (590千円) 認知症高齢者等の介護者を支援するため、臨床心理士による個別相談(18回、うち7回実施済)を実施します。また、臨床心理士による地域包括支援センター職員向けの研修会(9月以降3回)を実施し、地域で介護者を効果的に支援できる体制を整備します。さらに、認知症にやさしい地域づくりのため、認知症サポーター企業等認証を実施し、認証事業所の取組を区ホームページで紹介します。</p> <p><参考> (健康福祉局区配付予算) ・市民の意思決定支援事業：3月に作成した「もしものためのエンディングノート(中区版)」を配布。エンディングノートをテーマとした映画の上映会(6月26日 情文ホール)による普及啓発を実施</p>
予算額	1,850千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5. 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (540千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 (31回、うち16回実施済) イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催 (8回：全体研修2回、部会研修6回、うち1回実施済)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (150千円) ポレポレグッズ (障害者作業所製品) の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会 (各6回) ウ 区役所内定期販売会の支援 (12回、うち3回実施済)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 (270千円) 「共生社会の実現」 (障害者差別解消法) に向け障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア 啓発用ポスター、グッズ (うちわ) 等の作成及び掲示・配布 イ 関係機関協力のもと地域防災拠点訓練への当事者参加及び地域での出前講座の実施</p> <p>(4) パラリンピアン等による啓発講演会 (840千円) 【新規】 第一線で活躍するパラリンピアン等を講師とする講演会を開催し、障害への理解推進や人権意識の向上につなげていきます。また、区内作業所の製品紹介や啓発チラシの配布等を併せて行います。 (日程・会場) 12月7日 (土)・関内ホール (小ホール) ※人権啓発講演会としても開催【詳細はP32参照】</p>
予算額	1,800千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
6. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が、身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を生かして、地域での子育て支援を推進します。</p> <p>(1) グランマ保育園 (2,553千円) 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行います。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行います。</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の充実 (1,169千円) 【拡充】 子ども連れで安心して楽しめるスポットをまとめた「おでかけスポットマップ」を引き続き発行します。利用者からの声を踏まえ、掲載施設や情報を増やしたほか、施設情報やイベント情報の2次元コードを掲載するなど、改訂を行って来ました。今年度は、中国語版のマップも発行します。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 (100千円) 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間作りができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作ります。</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 (339千円) 中区独自の「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、ケアプラザ等で配布するとともに、開港記念会館で保育所等利用説明会を10月に開催し、利用申請の方法や各保育園の情報、様々な保育サービス、保育園での過ごし方等を紹介します。</p> <p><参考> (こども青少年局区配付予算) ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」の実施 (7月8日、132組) ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」の開催 (11月6日予定)</p>
予算額	4,161千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
7. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てができるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) 地域の見守り力アップ事業 (281千円) 児童虐待防止に関する親向けの講演会や関係者向け研修、スーパーバイザーを活用した事例検討会を実施します。</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 (432千円) 初めての子育てを安心してスタートできるように、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催します。</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 (1,725千円) 乳幼児健診について、きょうだい連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p> <p>(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等 (701千円) 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶことのできる教室や講座を開催します。</p> <p>(5) ひとり親家庭に対する相談支援の充実 (836千円) 区の状況を踏まえ、児童扶養手当現況届の受付に来庁する機会をとらえて、生活状況の聞き取りや各種手続の支援をきめ細やかにを行います。</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援強化プログラム (998千円) 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が生活をしていくためのスキルを身につけるきっかけとなるような体験会を実施します。また学校関係者向けの研修を実施します。</p>
予算額	4,973千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
8. 子ども食堂支援事業		<p>地域のボランティアが子どもたちに対し、地域交流の場で無料または安価で栄養のある食事を提供する、いわゆる「子ども食堂」が、継続して実施され、また活性化するように中区社会福祉協議会と連携して支援します。</p> <p>(1) 子ども食堂ネットワーク 子ども食堂の活動者同士や地域、企業等の支援者をつないでいけるよう、30年12月に中区社会福祉協議会と共に設立した子ども食堂ネットワークの定例会（7月30日、11月、2年2月）を開催し、情報共有などを行い、持続可能な活動を支援します。</p> <p>(2) 子どもへの支援のための調査 子どもの食を通じた地域交流のニーズなどを把握し、子ども食堂の活動者と情報を共有して今後の活動に生かしていくことを目的に、学校や学童保育など子どもと関わる機関・団体にヒアリング調査を行います。また、他区・他都市で好事例となっている団体の活動を調査し、運営の手法や心構えなど活動の継続に必要な情報を活動者に提供します。</p> <p>(3) 研修会及び講演会の実施 子ども食堂の活動者などを対象に、衛生管理など活動者が必要としているテーマに関する研修会を実施します。また、潜在する担い手を発掘し、地域での取組を活性化するため、区民向けに地域の居場所づくりに関する講演会（11月）を開催します。</p>
予算額	300千円	
所管課	福祉保健課 こども家庭支援課 生活支援課	

3 多文化共生のまちづくり

事業名	事業内容
1. 多文化共生推進事業	<p>中区多文化共生推進アクションプラン（29年6月策定）を踏まえ、人口の1割強を占める外国人区民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすく行政・地域情報を伝えます。</p> <p>また、今後一層増えるであろう外国人区民の現状を踏まえ、区民意識調査及び外国人基礎調査を踏まえてアクションプランを見直し、多様な人が住みやすいまちづくりを目指し、多文化共生を推進します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業（2,436千円） 「Naka Ward Town News」（英語）と「春夏秋冬」（中国語）を発行し、中区在住の外国人区民に役立つ生活情報、行政情報等を掲載します。 発行回数及び発行数：年4回（英語4,200部、中国語4,300部）</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業（804千円） 英語、中国語、ハングル、やさしい日本語のホームページを月1回更新します。特集（広報よこはま・なか区版からの抜粋）、イベント情報、生活情報等を掲載し、タイムリーに情報提供をします。</p> <p>(3) アクションプラン事業（1,030千円） 28年度に実施した「中区外国人基礎調査」を更新しました。 また、今年度、区として多文化共生の取組を整理するとともに、「区民意識調査」（7月18日から8月9日まで実施）等を踏まえ、アクションプランの見直しにつなげます。</p>
予算額	4,270千円
所管課	区政推進課

事業名	事業内容
2. 多文化交流事業	<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 日本語が全くできない外国人のための日本語教室事業（180千円） ア 日本語教室開催（前期34人：5～10月、後期30人：11～3月） イ 日本語教室受講者への119番通報体験・ごみ分別講習</p> <p>(2) 日本語ボランティア養成事業（320千円） （各ボランティア教室と連携） ア 日本語ボランティアの養成 入門講座（全8回程度） ブラッシュアップ講座（全4回程度） イ ボランティア日本語教室連絡会の開催（6月5日、12月）</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業（790千円） ア 多文化理解事業の実施（年2回） イ 多文化フェスタ開催（9月29日・開港記念会館） ウ 地域との連携（地域交流会開催等）</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業（800千円） 自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 情報収集・調査等（230千円）【拡充】 ホームページ運営、情報発信ツールとして中国SNS活用の検討</p> <p>(6) 地域連携・人材育成事業（2,415千円）【新規】 地域にヒアリング等を行い地域との連携を図ります。また、外国人ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所を作るとともに、ボランティア育成研修等を実施します。</p> <p>(7) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施（415千円）【拡充】 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(8) その他運営・事務費等（2,254千円）</p>
予算額	7,404千円
所管課	地域振興課

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたいくなる魅力的な中区の実現を目指してまちづくりを進めています。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行います。また、元年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めます。</p> <p>(1) まちづくり対応事業 (3,140千円) 【拡充】</p> <p>ア 横浜市都市計画マスタープラン中区プラン改定に向け、改定原案の公表・市民意見募集(6～7月)を行いました。引き続き改定案を作成し、都市計画審議会に付議(2年1月)し、改定します。</p> <p>イ 区民が「まち」・「川」への愛着を深めるための取組を30年度に引き続き行います。元年度は自治会町内会等と連携し、若年世代が地域活動を行うためのきっかけづくりとして、まちあるき、水上アクティビティ体験等を行っています(大岡川及び周辺地域:6月9日実施)。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業 (234千円)</p> <p>ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援を実施します。</p> <p>イ 地震火災対策として、感震ブレーカーの普及啓発など、関係局と連携し、燃えにくいまち・燃え広がらないまちの実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (600千円) 【拡充】</p> <p>「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第6版を増刷します(9月)。</p> <p>また、大規模スポーツイベント等で訪れる外国人の来街者に向け、ホームページ専用の外国語版(英・中・ハングル)を作成し、掲載します(9月)。</p>
予算額	3,974千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. 地域連携推進事業		<p>本牧エリアでは、情報発信型コミュニティカフェ「HOMMOKU BASE」のオープン(30年3月)や「本牧ハワイアンフェスタ」開催(30年9月)、「横浜マリンFM」の開局(8月26日)など、地域が主体となった取組が広がっています。</p> <p>このような機運を地域活性化のチャンスととらえ、地域の様々な背景をもった組織・団体・地域の人々が連携し、本牧全体で活性化に向けた取組が行える環境(プラットフォーム)づくりを支援します。</p> <p>(1) ヒアリング調査</p> <p>前年度に引き続き、本牧エリアの魅力や将来像、課題についてヒアリングするとともに、地域で行われている行事等を調査し、基礎資料を作成します。</p> <p>また、前年度からの調査結果を総括し、プラットフォームのあり方も検討します。</p> <p>(2) 地域の担い手育成</p> <p>区民利用施設などと連携し本牧をテーマとした講座を実施することで、本牧エリアで活動できる人材を育成します。</p> <p>(3) 地域活動支援</p> <p>三溪園や本牧山頂公園のような地域資源に加え、地域に根ざした伝統行事や住民の地域に対する深い愛着、活動意欲の高さという魅力を生かし、本牧のさらなる活性化に向けて、地域が主体となった活動に対して積極的に支援していきます。</p>
予算額	2,000千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めます。また、18区中17位となっている加入率（30年4月1日現在63.4%）の維持・向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進（338千円） 自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成支援、転入者への加入申込ハガキの配布等、加入促進に取り組みます。また、新規建築マンション・未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(2) 自治会町内会区域図及び地区情報カルテの作成（4,000千円）【新規】 自治会町内会区域図及び地区情報カルテを作成します。地域ごとの状況把握を行うことで、自治会町内会加入促進や、地域の安心・安全の取組、地域福祉の推進にも活用していきます。</p> <p>(3) 掲示板整備補助事業（1,600千円） 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(4) 自治会町内会長感謝会（860千円） 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、感謝会を開催します。また、永年勤続の会長に対し、市長表彰の報告及び区長表彰を行います。</p> <p>(5) 自治会町内会活動支援（45千円） 自治会町内会実務担当者向け研修会（4月3日、4日）の開催、自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）及び補助金交付事務（補助制度の説明、申請方法等）等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p>
予算額	6,843千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業（600千円） ア 商店街紹介ホームページの更新 中区ホームページに設置した商店街を紹介するページについて、適宜更新し、内容の充実を図ります。 イ 中区商店街紹介映像の充実 区内にある商店街の魅力を紹介する映像を作成して、YouTube等を活用したPRを行うことで、商店街の魅力を発信します。 ウ 商店街連携モデル事業 「商店街と子ども」をキーワードにその地域で成長していく子どもたちが街の商店街に愛着を持つような仕組みをつくるため、区・学校・地域が連携した「小学校の商店街お仕事体験」を実施します。</p> <p>(2) よこはまウォーキングポイントと連携したPRの実施(500千円) 【新規】 商店街活性化クーポンアプリの改修に変え、利用者が多く、商店街とのイベントの実績も多い「よこはまウォーキングポイント事業」と連携していくこととし、中区の商店街に足を運んでいただけるような取組を検討してまいります。</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店（600千円） ハローよこはまの会場に商店街ブースを出店し、商店街の魅力を広く区民や来場者にPRします。</p> <p><参考>（経済局区配付予算） 商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。</p>
予算額	1,700千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、スポーツ推進連絡協議会や青少年指導員協議会等の関連団体と連携して事業展開していきます。また、ラグビーワールドカップ2019TMや東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (2,220千円)</p> <p>ア 区体育協会活動支援 スポーツの区民大会開催や情報提供等</p> <p>イ 健康づくり推進事業 ・ラジオ体操の普及(指導者講習会、指導者派遣、資格取得促進【新規】) ・ランニングクリニックの実施(12月・2年1月)</p> <p>ウ 大規模スポーツイベントを契機とした関連事業【新規】 ・ラグビーワールドカップ:ハローよこはま出店、YC&ACラグビー教室開催 ・東京2020大会:ハローよこはままでの体験ブースの出店</p> <p>(2) 青少年育成事業 (822千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ(6月21日)、小学生フットサル大会(2年3月)</p> <p>(3) ウォークラリー推進事業 (445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体(青少年指導員・スポーツ推進委員)が主体となり開催(5月12日)</p> <p>(4) 中区ジュニアダンスステージ事業 (1,180千円)【新規】 学校等を中心とする日頃の仲間と共に目標に向かって努力し、楽しみながら体力向上と豊かな感性育成に寄与する、オールジャンルのダンス大会を実施(12月1日実施予定)</p> <p>〈参考〉市民局区配付予算【ラグビーワールドカップ(1,150千円)】【東京2020大会(600千円)】 中区小学生ラグビー教室:中区の小学校を対象としてラグビー教室を実施 ラグビー機運醸成講演会:共創推進課・RWC2019推進課と共催で、共創フォーラムに五郎丸歩選手を招へいし、トークショーを実施(7月24日) 東京2020大会関係スタンプラリー:既存のスタンプラリーイベントを東京2020大会仕様で実施 東京2020大会1年前イベント:7/13(土)横浜スタジアムで実施</p>
予算額	4,667千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進するとともに、横浜市民読書活動推進目標更新に伴い、中区読書活動推進目標の更新を検討します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業(区民活動センター) (1,733千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り(10月13日)、登録団体との連携講座、街の先生活用・PR事業、区民利用施設ヒアリング(10月~11月) 中区民利用施設スタンプラリー(8月20日~9月30日) 団体支援講座、街の先生養成事業、街の先生ガイド発行</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行(隔月発行) 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援(月2回)</p> <p>(2) 区民活動スタートアップ支援事業 (150千円) 自立的な活動支援のため、活動初期の2団体の事業に対し補助金交付</p> <p>(3) 生涯学習事業 (220千円) 地域課題解決のため、地域で活躍する人材育成講座 保育ボランティア育成講座</p> <p>(4) 文化活動支援事業 (130千円) 特別協力の3事業実施のほか、共催・後援事業の支援</p> <p>(5) 読書活動推進事業 (267千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会(年3回)及び「なか区ブックフェスタ」(10月~11月)の開催</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展(10月13日) 読書関連イベントの開催(10月~11月)</p>
予算額	2,500千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組んでいきます。</p> <p>(1) 三塔の日イベント開催 (1,000千円) 横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館ジャック、横浜税関(クイーン)、神奈川県庁(キング)で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等を開催します。 (2年3月8日(日)予定)</p> <p>(2) 見学者向けリーフレットの作成 (300千円) 施設見学者向けに多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)のリーフレットを改訂し、配布します。</p> <p>(3) 開港記念会館の運営等 (460千円) 開港記念会館の運営に係る庁内備品費ほか</p> <p><参考> (市民局予算) ・開港記念会館保存活用検討事業 (30,000千円) 本市の貴重な文化資源であり観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し、施設の魅力向上を図るため、保存改修工事の基本設計を実施します。</p>
予算額	1,760千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
8. ハローよこはま 2019		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表機会の充実」を目的として、中区民祭り「ハローよこはま」を開催します。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与します。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとします。</p> <p>(1) 開催日・会場 ア 日程：10月13日(日) イ 会場：横浜公園・日本大通り・象の鼻パーク</p> <p>(2) 実施内容(予定) ア 子ども・地球環境・福祉・防災等をテーマに、区民団体及び企業等によるブース展開(約110ブース) イ ステージでの区民団体等による活動発表(約25団体) ウ 横浜音祭り2019、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック等、市施策との連携 エ 来場者へのプレゼント企画(ビジターカード) オ 来場者アンケートの実施</p> <p>※保健・衛生・医療に関するテーマによる「元気フェスタ21」、区民活動団体による「なか区民活動センター祭り」を同時開催予定</p>
予算額	2,925千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
9. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 仁川広域市中区(240千円)：友好交流協定(22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。</p> <p>(2) 岩手県釜石市(150千円)：友好交流協定(26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き状況に応じた支援を実施します。</p> <p>(3) 埼玉県飯能市(845千円)：友好交流協定(26年3月締結) 鉄道5社相互直通(25年3月)1周年を契機に協定締結。両市の鉄道会社・商工会議所を含めた6団体からなる友好交流協議会を発足し、イベント交流事業等での相互PR・誘客に取り組みます。 今年度は協議会発足5周年を迎えることから、ダイナミック周年事業を計画。中区民120人を対象とし、飯能市に今年3月にオープンしたムーミンバレーパークへのツアーを実施し、飯能市の魅力を発見する機会とします。</p> <p>(4) 群馬県嬲恋村(275千円)：友好交流協定(28年2月締結) 嬲恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。 つまごい祭り(7月27日)で中区ブースを設置し、横浜市及び中区のPRを行いました。今後は、ハローよこはま(10月13日)でのPRや、HPを充実させるなど、広報によるプロモーションに取り組み、相互誘客につなげます。</p>
予算額	1,510千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1. 人材育成推進事業		<p>市民の視点に立った行政サービスの提供を行うため、職員の区民サービスの意識向上を図ります。</p> <p>(1) CS及びES向上事業 (530千円) ア CS向上事業：リーダー・サブリーダー研修 (8月予定) イ ES向上事業：プロジェクト募集 (5月14日)、メンバー募集 (5月21日)、中間報告 (10月予定)、最終報告 (2年2月予定) 8プロジェクトが活動し、「チーム中区」としての結束力を高めています。</p> <p>(2) 人権啓発事業 (630千円) 人権が尊重される社会を目指し、区民や区内企業を対象にした人権啓発講演会を開催します。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施します。 ア 中区人権啓発講演会の開催 ※高齢・障害支援課共催【P24参照】 中区人権啓発講演会・障害者理解推進イベント ～出会う つながる 今日から私にできること～ 日程：12月7日(土) 9時30分から13時 会場：関内ホール (小ホール) 第1部：中山和美選手 (車イス陸上のパラリンピアン) と キン・シオタニ氏によるトークショー 第2部：島筒英夫氏 (盲目のピアニスト) のコンサート ※会場で区内作業所の製品配布及び食品販売を実施 イ 人権啓発研修の実施 (6月～2年2月)</p>
予算額	1,140千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 利用しやすい区役所づくり事業		<p>区庁舎本館は竣工から30年以上経過し、現在の公共施設へのニーズに対応できていない部分があることから必要な改修等を行い、利用者環境の改善を図ります。また、地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与できるよう本館エントランス周辺や外構等を改修し、魅力的な区庁舎づくりに取り組みます。</p> <p>(1) 利用者環境等の改善 (7,664千円) ア 警備等業務委託 (通年) 安心できる庁舎環境づくりのため警備員を配置 ※ 別途配置している総合案内窓口のスタッフと連携して、来庁者への窓口案内等も実施 イ 庁舎改善委託等 2階へのスポットクーラー設置 (7～9月)</p> <p>(2) シビックプライドの持てる区庁舎づくり (4,730千円) 地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与し、街のランドマークとして区民が親しみや誇りを持てる魅力的な区庁舎づくりのための改修を実施します。 【本館外構等改修】実施設計 (4月～7月)、工事 (10月～2年3月)</p> <p><参考> (市民局区配付予算) ・本館外構等改修については、自主企画事業費と公益用地活用メリットシステムに伴う予算配分 (64,113千円) により実施します。 ・区庁舎等環境改善事業により、本館狭隘化対策調査等 (所要額の区配) を実施します。</p> <p><その他> ・本館外構等改修にあわせて区役所前の歩道占用駐輪場の見直しを予定</p>
予算額	12,394千円	
所管課	総務課	

事業名	事業内容
3. 広報・案内事業	<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をよりスムーズに案内できるよう、従来警備業務と合わせて行われていた総合案内窓口業務に、専任の職員（派遣社員）を配置します。</p> <p>(1) 広報事業 (121千円) ア 区ホームページでの区政情報及びツイッターによるイベント情報等の発信 イ 区内イベントへのマスコットキャラクター「スウィングー」の参加等によるプロモーション活動 ウ 庁内職員のための広報研修実施</p> <p>(2) 広聴事業 (30千円) ア 「市民からの提案」等の広聴への対応 イ 町内会、その他団体からの要望（陳情）への対応</p> <p>(3) 広報相談係運営事業 (5,983千円) 1階総合案内受付業務について、従来委託先の警備員が行っていたところを案内業務に専従する派遣スタッフに切り替えることにより、受付窓口サービスを向上</p>
予算額	6,134千円
所管課	区政推進課

議題（４）

令和２年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方

令和元年度中区運営方針においては、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～」を基本目標としています。また、オリンピックイヤーとなる令和２年度に向け、基本目標をベースとして、「安心して暮らせるまち」「共生の推進」「活力を生む地域の賑わいづくり」の実現に重点をおいて取り組んでいます。

令和２年度予算においても、目標達成に向けて次の５つの施策を掲げて編成し、しっかりと歩みを進めていきます。

- 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
（「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業）
- 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり
（「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業）
- 3 多文化共生のまちづくり
（「多文化」等 関連事業）
- 4 地域の活力があふれるまちづくり
（「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業）
- 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり
（「区民サービス向上」「広報」等 関連事業）